

交付金対象事業名		事業目的・概要
子育て・就労総合支援拠点(仮称)整備計画		子育て支援センターを整備拠点に統合し、同施設の2階に常設する就労支援センターとも密な連携を図りながら、就労相談・利用者用託児など子育てから交流、そして就労まで一貫したワンストップの支援機能を有する多機能・分野横断型のサービスを提供できる市の中核拠点として活用する。併せて、市が行う事業であるファミリー・サポート・センター事業、就労支援事業、一連の子育てに関する相談事業等を一体的に提供し、行政サービスのワンストップ化を実現する。 また、コミュニティスペースやカフェ、学生の居場所、地場産品のアンテナショップ、コワーキングスペース、ワーケーションの拠点として複合的な機能を持つ拠点として活用を図るとともに時間の長短や個々の属性にとらわれない多様な就労機会を積極的に生み出す拠点として、また市の魅力を積極的に発信する拠点として活用を図る。
総合戦略の位置づけ		
重点戦略3 結婚・出産・子育ての希望をかなえる		
事業開始	事業終期	
2021年4月	2022年5月	

要素事業	交付金対象事業費 (2021-2022年度実績) 単位:千円	主な取組内容
1 子育て・就労総合支援拠点(仮称)整備 (地方創生拠点整備交付金)	367,888	子育て就労総合支援センター施設整備(建築主体工事・電気設備工事・機械設備工事・内装工事ほか)
2 拠点用備品購入(効果促進事業) (地方創生推進交付金)	24,999	子育て就労総合支援センター用備品購入(子育て支援センター用備品・交流スペース用備品ほか)
合計	392,887	

No.	重要業績評価指標(KPI)	事業開始前	単位	基準年度	2022年度 増加分	2023年度 増加分	2024年度 増加分	2025年度 増加分	2026年度 増加分	増加分 合計	単位	目標値 KPI増加分 の累計	単位
1	子育て・就労総合支援拠点におけるのべ施設利用者数	6,500 (子育て支援センター利用者数)	人	2020	3,484 100	9,113 100	150 150	150	-	12,597 -	人	500	人
2	就労支援セミナーの参加者数	0	人	2020	14 20	54 20	20 20	20	-	68 -	人	80	人
3	18歳未満の子どもを持つ保護者による就労相談の件数	0	件	2020	22 10	8 20	20	30	-	30.00 -	件	80	件

※KPI実績値の下段は事業実施計画における各年度ごとの目標値

事業効果	地方創生に非常に効果的であった	2023年度における拠点ののべ利用者数は10万人を超え、想定を大幅に上回る利用をいただいております。子育て世代への支援策として非常に効果的であった。 拠点に関連した子育て世代の就業のべ人数は16人であり、本事業で実施しているスキルアップ講座やセミナー、相談等を実施した効果が出てきている。
今後の方針	事業の継続	拠点施設に関しては就労や子育て世代のニーズにマッチしたセミナー等の開催、就労支援を強化するためにハローワークや市就業支援センターと連携した就労相談会の開催を継続実施することにより就労支援により力をいれていく。また、コミュニティスペースやカフェ、学生の居場所、地場産品のアンテナショップ、コワーキングスペース、ワーケーションの拠点として複合的な機能をもつ施設として認知度が向上しており、駅前である立地特性の利点を活かした年齢を問わないサードプレイスとして、公共性のある賑わい創出拠点にしていきたい。また、スタジオを活用した地域の情報発信の拠点として魅力について発信してまいりたい。
外部評価 (コメント)		●子育て支援センターを利用して、受付対応の方が親切で、子どもだけでなく大人にも声かけをしてくれて温かみを感じた。今後もbotaをより良く変化させていってもらいたい。 (※総合戦略の効果検証における関連コメント)